

☆生徒たちのやってみたいをカタチに☆

春頃から、「生徒が地域の人たちと一緒に何かできないか、それも生徒たちがアイデアを出して自分たちの取組としてできないか」という提案が中学校から出されていました。生徒アンケートを通して多くのアイデアが挙げられました。その後、文化祭の午後の部で生徒たちや地域の人たちの発表をしようということになりました。何しろ初めての試みのため、先生も準備から、段取りからいろいろ大変だったと思います。

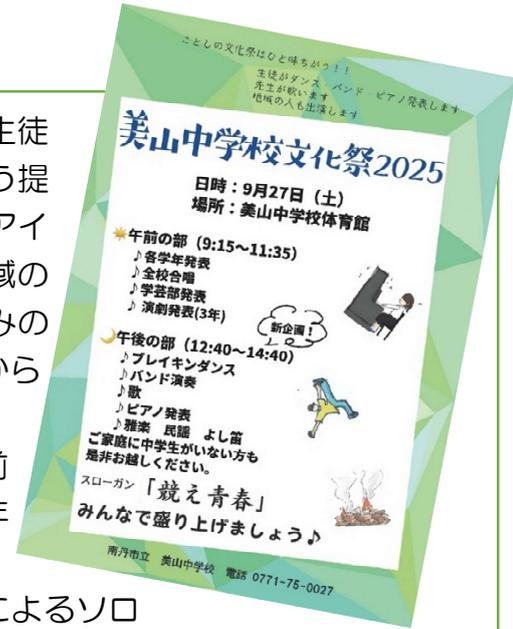
9月27日の文化祭当日、午前中は従来通り各学年の合唱と3年生の劇発表が行われました。

そして午後の部。まずは生徒によるソロピアノ演奏でした。椅子から立ち上がった生徒たちがピアノを囲んで演奏を聞くというフリースタイルから始まりました。その後、日

本よし笛の会京都美山教室、美山民謡会、知井八幡神社雅楽会、今様音楽企画の演奏が続きました。美山民謡会の炭坑節では生徒たちも一緒に輪になって踊るという、これもフリースタイルでした。そして美山中学校の先生（音楽の先生ではない）がソロでAdoの歌を披露しました。度胸も含めて圧巻でした。すでにかなり盛り上がり良いノリになっていましたが、次に生徒たちによるプレイキン(ダンス)・・・暗い照明の中でスポットライトを浴びて3人の生徒がかっこよく決めました。そしてラストは生徒たちによるバンド演奏でしたが、もうここまでくると生徒も保護者も先生も全員が舞台に近寄ってノリノリでした。

楽しい文化祭でした。生徒にとっても、先生方にとっても、保護者の方々にとってもきっと楽しい文化祭となったと思います。

来年も「地域の人たちと何かできないか？」ということで、文化祭にこだわらず、生徒たちのアイデアからひとつでも実現できればよいと思っています。少々うまくいなくても、生徒たちが自主的に取り組むことができれば、そしてそれを美山中学校の中で積み重ねていくことができれば、「ふるさとを愛し 夢や希望に向かって自らを高める 美山っ子の育成」というブロック統一教育目標の実現に近づけるのではないかと考えています。



多種多様な仕事に触れる、働き方もいろいろ経験、美山中の職場体験

職場体験事前学習

「働くとは!?!」 あの湖池屋さんに聞きました!

2年生は11月に職場体験学習があります。職場体験をする前に、仕事とは?働くとは?会社とは?などを学んでもらうために事前学習を行います。ここ数年は地域コーディネーターの製造業に対する熱い思いから、その方面の方たちをお呼びしています。今年は園部にある湖池屋京都工場の片山さんにお越し頂き、お話を伺いました。湖池屋さんが1962年にポテトチップスの販売を始めてからのお話や、どんな製品を作っているのかなど短い時間でしたが、たいへん面白くお話ししてくださいました。

- ・「働く人が笑顔でなければ食べた人が笑顔にならない」
- ・「新たな価値を生み出すためには“未常識を形に”」

といった湖池屋さんのこだわりのお話もたくさん伺うことができました。お話の後に、プレーンのポテトチップスに生徒たちの好みでフレーバーをつけるという美味しいオプション体験もご用意くださいました。それぞれに、好きなフレーバーを振りかけて楽しんでいましたが、中には欲張りすぎてかなり個性的な味になっている生徒もいました。

以下、生徒たちの感想をいくつかご紹介します。

■「僕は仕事に対して「面白くない」というイメージを持っていました。ですが、片山さんの生き生きとした話し方と仕事内容を見て「仕事って面白そう!」と思い始めました。あんな色々なフレーバーから自分だけの味を作り、それが商品になるのは本当に夢みたいです。お金のために働くと思っていたけれどそれだけではないと思いました」

■「“何のために働くのか”私はまだイマイチ分からないけれど、今日、片山さんが仰っていた「何に気を遣うのか」は大切なのかなと思いました。職場体験でいろいろ学びたいなと思いました」



いざ職場体験へ

今年の職場体験は11月5~7日の3日間、9時から17時まででした。他地域では、長時間、複数日にわたり職場体験を実施する学校が少なくなる中で、これだけの時間を受け入れて下さる事業者の方々には多大なご負担があると思っています。まずはご協力下さった方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

毎年、事前に生徒たちにアンケートを実施し、どのような職場に行ってみたいか意向を聞いています。サービス業関係の他に今年は、保育所、小学校にも多くの希望があり、みやまこども園だけでなく、弓削保育所、美山小学校にもお世話になりました。また、新たな分野からも、みやま診療所、美山町森林組合に受け入れていただきました。

以下、生徒たちの感想を紹介します。

■「職場体験前/好きな仕事をしている人は楽しそう・そうじゃない人は辛そう-----職場体験後/好きな事を仕事にしても好きな事以外もやらないといけないという事に気づけた。人は人のために働くと思う。保育士さんは園児のため、家族のために働いていて素敵だなと思ったし、私もそんな働き方がしたいと思った」

■「人に感謝された時が嬉しかった。人の役に立てたんだと感じたし、もっと人の役に立とうと思った。特に事務仕事が難しかった。次々と患者さんが来るからすごく忙しい時があった。命と向き合っているから慎重にしないといけないから大変だった」



キャリア教育

「美山学」では、地域と学校と保護者が一緒になって子どもたちの学びについて考え、美山の歴史・文化・自然・人・物・事を教材として学びます。地域の方たちがTeam-MIYAMAGAKUとして受け皿となり、様々な教科を通じて、自ら考える力、表現力、コミュニケーション能力を高める学習に取り組んでいます!